

研究課題名	小児の小腸カプセル内視鏡検査における適切な前処置の検討
研究の意義・目的	近年、医療の進化によりカプセル内視鏡検査を施行することで、小児の患者様でも小腸病変（主に炎症性腸疾患、消化管出血、ポリポシス、IgA 血管炎など）の検索が可能になりました。成人の患者様では、前処置として約2リットルの洗腸液を服用後に検査を施行することが一般的ですが、小児の患者様で前処置が必要かどうかは明確に分かっていません。多くの小児の患者様にとって前処置は苦痛であるため、本研究で前処置の必要性について検討し、検査の精度と前処置の関係性から今後の診療に役立てます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2022年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2013年4月～2018年3月に大阪市立大学医学部附属病院の小児科で、カプセル内視鏡検査を行われた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：年齢、性別、身長、体重、腹部手術歴の有無、カプセル内視鏡検査日および検査目的 前処置（絶飲食を含む）の方法、カプセル内視鏡動画、診断名
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関である埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科および大阪医科大学病院第2内科に頂いた診療情報を提供します。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は、大阪市立大学附属病院小児科のほか、埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科、大阪医科大学病院第2内科信州大学附属病院小児科、東京都立小児医療センター消化器科、東京女子医科大学附属病院小児科と共同で行います。
試料・情報を管理する責任者	埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科 南部隆亮
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学 担当者：磯浦 喜晴 電話番号：06-6645-3816（大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学 医局） メールアドレス：m2047681@med.osaka-cu.ac.jp